

2023年7月26日

薄膜高断熱材「ファインシュライト[®]」がアウトドア用品に採用

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、当社開発の薄膜高断熱材「ファインシュライト」が株式会社 STATICBLOOM（本社：東京都あきる野市、代表取締役：田中友香）のストーブマット SAG STOVE MAT に採用されましたのでお知らせいたします。



SAG STOVE MAT

ファインシュライトは高断熱フィラー（微細に粉碎したシリカエアロゲル）を当社独自の配合技術で塗料化した薄膜高断熱材です。ファインシュライトを不織布にコーティングし、その上にアルミ蒸着フィルムを貼りつけたシートを STATICBLOOM 社製のマットに内蔵しました。ストーブマットは、登山やキャンプのシーンで使用する、調理用ストーブの下に敷く製品です。ストーブの下地を保護しながら、同時に保温、断熱機能も発揮します。

当社は、ファインシュライトの用途拡大を目指して、アウトドア製品を手掛ける STATICBLOOM と 2021 年 12 月より開発に取り組みました。本製品は、「SAG[※]STOVE MAT」の商品名で、23 年 4 月より STATICBLOOM 製品の取り扱い店舗、オンラインストアで販売しています。※silica aerogel（シリカエアロゲルの略）

アウトドア用品は、移動時の可搬性（持ち運びやすさ）が重視されます。可搬性において、SAG STOVE MAT は形状変更の自由度を生かし、収納スペースに合わせてコンパクトに折りたたむことが可能です。マグクッカーなどの容器に収納することもできるため、効率的にバックパックに荷物を収納することができます。

またグローバルで地球環境保全への取り組みや意識が高まる中、登山者やキャンパーといった自然環境の中で活動する人々の、環境保全に対する意識はますます高まっています。従来のストーブマットは、熱伝導率が低い軽量フェルトの採用が一般的でした。しかし、利用時や持ち運びの際に、フェルトの繊維が抜け、分解されない繊維が自然界に残留することが課題でした。ファインシュライトは繊維が抜けにくい特長があります。STATICBLOOM と住友理工は、STATICBLOOM の製品開発力と当社の素材力を掛け合わせ、環境負荷軽減の一助となる製品を開発しました。

当社グループは引き続き、ファインシュライトの新たな製品用途拡大を目指し、共同開発に向けたパートナーの探索を継続しています。さらにファインシュライトを活用した熱マネジメント分野での技術・製品開発を通じて、人々の暮らしにおける快適性の向上、自然環境に配慮した持続可能な社会実現に向けた活動に注力していきます。

<製品概要>

- 構造： シート表面は防災加工ナイロンを使用、内側にファインシュライトを使用
サイズ： SOLO サイズ（153 mm × 153 mm）、A4 サイズ（297 mm × 213 mm）
特長： SOLO サイズ……四つ折りしてマグクッカーなどにコンパクトに収納可能
A4 サイズ……高温状態のクッカーも置くことができ、二つ折りも可能



マグクッカーに収納した SAG STOVE MAT

<購入方法>

STATICBLOOM WEB サイト

<https://store.staticbloom.co.jp/products/static-sag-stove-mat>

<STATICBLOOM の概要>

- 名称： 株式会社 STATICBLOOM
代表者： 代表取締役 田中友香
所在地： 本社 〒190-0173 東京都あきる野市戸倉 551
事業内容： 自社製品アウトドアウエア、コスメ関連企画販売
アウトドアアイテム ディストリビュート
アウトドア関連の映画上映および企画運営

WEB サイト：<https://www.staticbloom.co.jp>

<ファインシュライト>

ファインシュライトは、航空宇宙産業でも使用される高断熱ファイラー「シリカエアロゲル」を応用した製品です。シリカエアロゲルは非常に高い断熱性能を有する一方、極めて低比重で疎水性が高いため、塗料化が難しいとされてきました。当社は長年培った高分子材料技術、特に高度な分散技術を駆使し、高濃度での塗料化に成功しました。

コロナ禍で需要が高まったフードデリバリーや新型コロナウイルスワクチンの定温保管・輸送に貢献する製品や、脱炭素に向けた工場設備にも採用されています。



薄膜高断熱材「ファインシュライト®」(シートタイプ)

■ファインシュライトに関する過去のプレスリリース

<https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2020/pdf/n51910543.pdf>

<https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2020/pdf/n51910552.pdf>

<製品に関するお問い合わせ>

住友理工株式会社 新商品開発センター

(〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地)

0568-77-2199

受付時間： 9:00～17:00 (土・日・祝日・GW・夏期休暇・年末年始を除く)

Email：finesulight@jp.sumitomoriko.com

以 上

リリースに関するお問い合わせ先

住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>